

岩城村誌 下卷 現代編

目次

凡例

第一編 現勢誌

第一章 地理・自然	三
第一節 地理	三
第一項 位置	三
第二項 地勢	四
第三項 地質	八
第四項 面積	八
第五項 集落	六
第六項 国土(地積)調査	五
第二節 自然	〇
第一項 氣象	〇

第二項 付 録

第二章 行政・財政

第一節 行 政

第一項 王政復古・廢藩置県	100
第二項 維新前後の岩城村庄屋	100
第三項 明治初期に於ける地方制度の変遷と「岩城村外一ヶ村」の始終	101
第四項 小区事務取扱所・戸長役場と周辺状況	101
第五項 岩城村地誌	101
第六項 登記所	101
第七項 「市制・町村制」「郡制」施行、展開とその周辺	102
第八項 村役場庁舎	102
第九項 大正時代の年表と自治制度の変革	102
第十項 区長の初め	102
第十一项 第二次世界大戦から	102
第二節 戸籍・人口	102
第一項 明治維新前後	102
第二項 戸籍法施行	103

目 次

第三項 国勢調査	103
第三節 議 会	103
第一項 岩城村議会	103
第四節 選 挙	103
第一項 選挙制度	103
第二項 村長選挙異聞(その一)	104
第三項 村長選挙異聞(その二)	104
第四項 永久選挙人名簿	104
第五節 人事・給与	104
第一項 戸長時代給与	104
第二項 「町村制」施行から	105
第三項 太平洋戦争後の推移	105
第六節 公共等土木建設事業	105
第一項 明治・大正期	106
第二項 昭和期	106
第七節 財 政	106
第一項 明治期	106

第二項	大正期	三〇
第三項	昭和期 戦前	三三
第四項	昭和期 終戦から	三五
第八節	税	三六

第一項	御年貢米	三六
第二項	地租改正前後	三六
第三項	地押調査のこと	三七
第四項	大正期	三七
第五項	昭和期(戦前)	三八
第六項	終戦後の地方税	三九

第三章 産 業

第一節	農 業	三九
第一項	明治・大正時代の農業	三九
第二項	昭和の農業	四〇
第三項	岩城村農業の動態	四一
第四項	小作農のこと	四二
第五項	農地改革	四三

第六項	村の開拓農	四一
第七項	米の生産調整	四二
第八項	愛媛県果樹試験場岩城分場	四三
第九項	村の農業構造改善事業	四四
第十項	岩城村農業協同組合	四五
第十一項	ゼラニウム栽培	四六
第二節	畜 産 業	四六
第一項	畜 牛	四六
第二項	養 豚	四七
第三節	林 業	四七
第一項	封建時代	四七
第二項	はげ山	四八
第三項	保安林	四九
第四項	村の猟区	五〇
第五項	松喰い虫被害	五一
第六項	林 道	五一
第七項	岩城村林業の現勢	五二

第四節 漁業	七三
第一項 藩制下の漁業	七三
第二項 明治期の漁業	七三
第三項 漁業権	七四
第四項 大正期の漁業	七三
第五項 昭和期の漁業	七五
第六項 岩城生名漁業協同組合	七五
第五節 商工業	七五
第一項 明治・大正期の商工業	七五
第二項 昭和期の商工業	七五
第三項 岩城村商工会	七六
第四項 造船の島	七六
第五項 銚いわぎ物産センター	七六
第六節 煙害	七六
第一項 四阪島製錬所煙害と岩城村	七六
第七節 塩業	八二
第一項 藩制下の塩田	八二

目次	
第二項 地租改正と塩田	八四
第三項 村有塩田	八三
第八節 観光	八六
第一項 瀬戸内海国立公園積善山	八六
第二項 国指定重要文化財祥雲寺観音堂	八三
第三項 旧島本陣三浦邸・岩城郷土館・その他	八三
第四章 交通・運輸	八六
第一節 陸上交通	八六
第一項 陸運	八六
第二項 道路	八七
第三項 車両	八四
第四項 村道の現況	八七
第五項 自動車運送事業	八六
第二節 海上交通	八六
第一項 渡し舟	八二
第二項 渡海船	八三
第三項 定期船便	八四

第四項 戦後の港湾施設整備等及び定期船就航

第五章 電気・通信

第一節 電 気

第一項 岩城村の電灯

第二節 通 信

第一項 郵便局の開設

第二項 電話・電信

第三項 郵 便

第四項 ラジオ・テレビ

第六章 民生福祉

第一節 社会福祉

第一項 生活保護

第二項 児童福祉

第三項 母子福祉

第四項 零歳児医療

第五項 心身障害者福祉

第六項 老人福祉

第七項 老人医療 九〇〇

第八項 その他の福祉対策 九〇三

第九項 国民年金 九〇三

第十項 社会福祉協議会 九〇三

第二節 住 宅

第一項 公営住宅 九〇四

第七章 保健・衛生

第一節 医 療

第一項 岩城村の蘭法医 九〇五

第二項 明治・大正期 九〇五

第三項 僻地医療と医師の招聘 九〇五

第四項 伝染病と隔離病舎 九〇五

第五項 村民の健康と疾病 九〇五

第六項 国民健康保険 九〇五

第七項 その他 九〇九

第二節 葬祭施設

第一項 火葬場 九〇九

第二項 共同墓地	10011
第三節 清 掃	10011
第一項 し尿処理	10011
第二項 塵芥処理	10011
第四節 水 道	10011
第一項 簡易水道	10011
第八章 警察・消防	10111
第一節 警 察	10111
第一項 明治・大正期	10111
第二項 昭和期	10111
第二節 消 防	10111
第一項 消防組・消防団	10111
第九章 軍 事	10211
第一節 維新前後	10211
第一項 征長の役と岩城村	10211
第二項 徴 兵	10211
第三項 日清・日露戦争	10211

第四項 満州事変から太平洋戦争	10211
第五項 岩城村の軍用施設	10211
第六項 太平洋戦争終結	10211

第二編 文化誌

第一章 文化財	10311
第一節 はじめに	10311
第二節 文化財保護の歩み	10311
第三節 指定文化財	10311
第一項 国指定文化財	10311
第二項 県指定考古資料	10311
第三項 県指定天然記念物	10311
第四項 村指定文化財	10311
第二章 教 育	10411
第一節 学制以前の教育	10411
第一項 藩校と庶民教育	10411
第二項 本心学御道話	10411

第三項 知 新 館

第二節 明治初期の学校教育

第一項 学制の制定

第二項 知新小学校

第三項 学務委員の設置と町村費による教育費負担

第四項 郡立越智中学校の設立

第三節 学校制度の確立

第一項 小学校令の制定

第二項 岩城小学校の発足

第三項 地方自治制度と学校令の改定

第四項 教育勅語の奉戴と御真影の下賜

第五項 岩城尋常高等小学校

第六項 就学義務と授業料の廃止

第七項 弓削・岩城村組合立海員学校

第八項 校舎の移転と国定教科書制度

第九項 長江分教場の設置

第十項 義務教育年限六年制

..... 二二二

..... 二二三

..... 二二四

..... 二二五

..... 二二六

..... 二二七

..... 二二八

..... 二二九

..... 二三〇

..... 二三一

..... 二三二

..... 二三三

..... 二三四

..... 二三五

..... 二三六

..... 二三七

..... 二三八

第十一項 第二期国定教科書

第十二項 就学補助制度

第四節 大正時代の教育

第一項 学校医の設置・校舎増築

第二項 実業補習学校の設置

第三項 教員の生活難と村財政の窮乏

第四項 大正デモクラシー

第五項 村の奨学金制度

第六項 組合立越智中学校の設立

第七項 学務委員増員・青年訓練所の設置

第五節 昭和初期・戦時下の教育

第一項 小学校校舎の増設

第二項 学務委員設置規則の改正

第三項 学校教育に寄付つづく

第四項 青年学校の設置

第五項 義務教育費の国庫・県費負担

第六項 青少年の錬成

..... 二二七

..... 二二八

..... 二二九

第七項	運動場の拡張と奉安殿造営	二八六
第八項	国民学校への転換	二九二
第九項	不自由を極めた学校生活	二九二
第十項	戦争末期の学校教育	二九三
第十一項	終 戦	二九四
第六節	新しい教育制度	二九五
第一項	連合国による日本教育の管理	二九五
第二項	新憲法制定と民主教育	二九七
第三項	教育基本法制定と教育勅語の排除	二九七
第四項	六・三・三・四制の実施	二九八
第五項	教育内容の変遷	二九八
第七節	新制度下の岩城小学校	三〇一
第一項	小・中学校同居の時代	三〇一
第二項	学校統合に向かう	三〇〇
第三項	新校舎時代	三〇六
第八節	岩城北小学校	三〇六
第一項	長江分教場時代	三〇六
第二項	独立校時代	三〇七

第三項	統合の機運	三〇九
第九節	岩城中学校	三〇六
第一項	草 創 期	三〇六
第二項	新校舎時代	三〇九
第三項	小学校跡に移動	三〇六
第四項	現状と課題	三〇七
第十節	学校給食	三〇七
第一項	岩城村学校給食のはじまり	三〇七
第二項	学校給食共同調理場の設置	三〇九
第十一節	教員住宅	三〇七
第一項	戦前の住宅事情	三〇七
第二項	教員住宅の整備	三〇八
第十二節	保育所と幼児教育	三〇八
第一項	保 育 所	三〇八
1	岩城保育所のはじまり	三〇八
2	岩城・長江保育所の統合	三〇八
3	鳩岡地区へ新築移転	三〇九

第二項	青年会の発達	二二六
第三項	婦人教育の振興	二二七
第四項	戦時下の社会教育	二二八
第五項	戦後の社会教育	二三五
第六項	公民館の発足	二四七
第七項	婦人会	二六一
第八項	P T A	二六六
第九項	愛護班活動	二九二
第十項	老人団体	三九五
第十一项	文化活動	三九九
第十二項	同和教育	四〇八
第十六節	社会体育	四三三
第一項	草創期の社会体育	四三三
第二項	公民館による社会体育の推進	四四一
第三項	体育協会の発足	四四八
第四項	総合運動場の整備	四四九
第五項	年中行事となった社会体育	四五三

第二項	幼児教育	二六八
1	鶴山幼稚園	二六八
第十三節	教育委員会	二六九
第一項	戦前の教育行政	二九四
第二項	教育委員会法の制定	二九七
第三項	公選制から任命制へ	三〇〇
第四項	学級編制基準の移り変わり	三〇二
第五項	村民憲章の制定	三〇四
第六項	教育委員会の諸活動	三〇五
第十四節	伯方高等学校岩城分校	三三三
第一項	家政学園時代	三三三
第二項	弓削高校の分校時代	三三三
第三項	今治西高校に所属替え	三三六
第四項	伯方高校の分校時代に入る	三三七
第五項	独立新校舎完成	三三九
第十五節	社会教育	三三七
第一項	初期の社会教育	三三七

第六項 体育競技全国大会出場者……………一四三

結 び……………一四七

第三章 生 活……………一四七

第一節 村びとの暮らし……………一四七

第二項 経済と暮らし……………一四九

第二項 祭祀と暮らし……………一四九

第四章 民 俗……………一四五

第一節 農家の暮らし……………一五三

第一項 農 作 業……………一五四

第二項 食……………一五四

第三項 住……………一五七

第二節 儀 礼……………一五六

第一項 人の一生に関する儀礼……………一五〇

第二項 年中行事……………一五〇

第三節 民謡・俚謡……………一五一

第一項 概 説……………一五九

第二項 歌 詞……………一五九

第三編 郷土人物小伝

郷土人物小伝……………一六五

第四編 附 録

郷 土 誌……………一六五

岩城村史年表……………一六九

編集後記

岩城村誌の編纂に携わった人々

重要資料「表」「図」「索引」

異常気象年表	三〇	工事施行一覧表（自昭55年度）	三五
潮流 図	三〇	歳入歳出決算表	四〇
旧小字別位置見取図	三三	農道現況表	七五
岩城村地誌（明治十三年版）	三三	漁業権 図	七三
戸長 録	六三	村道路台帳	六七
岩城村三役助 役名簿	六五	公営住宅建設年表	九五
収入役	六五	疾病分類別診療件数及日数	九五
岩城村主要公共施設等一覧表	六一	戦後の火災・海難事故等年表	一〇〇
国勢調査・人口調査の世帯人口	三七	英 霊	一〇七
本籍・住民登録人口等調	三六	いわぎの民謡・俚謡集	一五〇
集落別世帯人口	四〇	歴代岩城小学校長	一三六
住民登録者数年齢別等調（昭56・1・30）	四一	歴代岩城北小学校長	一四〇
議長・副議長・議員名簿	四五	歴代岩城中学校長	一三五
各種選挙執行状況調	三九	岩城村教育委員会歴代委員	一三七

第一編 現勢誌